TOPICS 04

「新たな森林づくりコンクール2021」受賞者決定

「新たな森林づくりコンクール2021」の受賞者が決定し、3月15日に表彰式が行われました。

新たな森林づくりコンクールは、森林整備の現場での先進的な技術や経営の取組事例を幅広く募り、優れた事例を表彰・普及することで、現場が抱える課題を解決し、将来の森林の維持へつなげていくことを目的に開催されました。

コンクールには技術部門と経営部門があり、全国から技術部門が21事例、経営部門が16事例、合計37事例の応募がありました。これら事例を林業の研究者やトップランナーら有識者から組織された審査委員会で評価を行い、厳正なる審査の結果、受賞者が表のとおり決定しました。

表彰式は、新型コロナウイルスによるまん延防止等重点措置期間中ということを踏まえ、オンライン開催となりました。

受賞者と林野庁小坂森林整備部長（右）、全国林業改良普及協会中山専務（左）

※表彰式は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、オンライン開催としました。

「新たな森林づくりコンクール 2021」受賞者及び受賞取組

賞	部　門	受賞者・「受賞取組」
林野庁長官賞	技術部門	**一般財団法人 広島県森林整備・農業振興財団（広島県）** 「コウヨウザン造林推進のための苗木生産技術の開発」
	経営部門	**南佐久中部森林組合（長野県）** 「主伐後の再造林～保育10年保証制度～」
全国林業改良普及協会会長賞	技術部門	**大分県森林組合連合会（大分県）** 「造林事業に係る現地調査 DX（デジタル・トランス・フォーメーション）」
	経営部門	**株式会社 迫田興産（鹿児島県）** 「自社での一貫作業システムによる再造林推進」
		障害福祉サービス事務所樹の実園（大分県） 「林福連携苗木生産者支援事業（スギ挿し木用穂木生産）」

※応募いただいた取組事例は、「革新的造林モデル事例集」として林野庁ウェブサイトで公表します。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/kanbatu/houkokusho/houkoku.html

長官賞受賞事例

（一財）広島県森林整備・農業振興財団
コウヨウザン造林推進のための苗木生産技術の開発

早生樹であるコウヨウザンの造林に国内で初めて取組み、現在、各地で行われているコウヨウザン造林の先駆けとなった取組です。

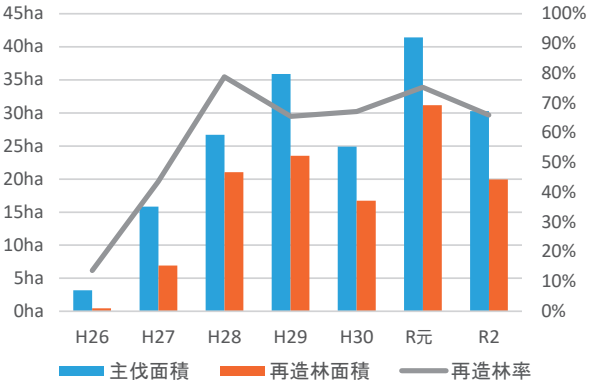
コウヨウザンのコンテナ苗生産マニュアルを作成したこと、植栽技術を確立されたことが、広島県内の再造林の実績に大きく寄与しており、またそれらの取組が全国に普及している点が高く評価されました。

コウヨウザン造林

南佐久中部森林組合
主伐後の再造林 ～保育10年保証制度～

森林所有者から主伐収益の一部を再造林費に充ててもらうことで、組合が10年間の保育を保証する取組です。

他の地域でも同様の取組は見られますがそれらは5年保証となっており、10年という長期間の保証は例にないこと、またこれにより再造林が更に確実に行われている実績が高く評価されました。



主伐・再造林の実施状況　※平成28年から取組を開始